

室蘭地方気象台からのお知らせ ～線状降水帯について～

線状降水帯は大気の状態が非常に不安定な時に発生し、発生した積乱雲により、線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞することで、大雨をもたらすものです。

気象庁では、令和3年6月から線状降水帯が発生したことをお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」を公表し、今年6月1日から線状降水帯の予測に基づいて「大雨の半日程度前から注意を促す運用」を開始しました。大雨による甚大な災害が発生する可能性が高い情報であり、早めの避難の検討などに活用してください。

さらに、予測精度を高めるため、今後も大学等の複数の研究機関と連携して線状降水帯のメカニズム解明に向けた高密度な集中観測を実施します。

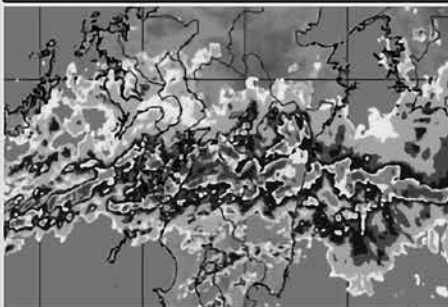
また、文部科学省・理化学研究所の全面的な協力を得て、スーパーコンピュータ「富岳」を活用して、開発中の予報モデルのリアルタイムシミュレーション実験を実施します。

線状降水帯に関する
各種情報
(気象庁HP) ▶



<令和4年度の実施内容>

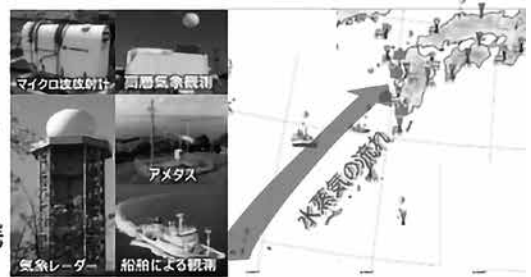
半日前からの予測情報の提供



線状降水帯による大雨について、早めの避難につなげるため、たとえば、「半日後に、九州北部で発生」といった予測を開始。
(深夜や未明の状況を予想して、明いうちに避難の心構えを！)

水蒸気観測の強化と集中観測の実施

- 観測機器の整備を強化・前倒し
- 産学官連携を活用し、大学や研究機関との連携による集中観測を実施



スーパーコンピュータ「富岳」の活用

スーパーコンピュータ「富岳」を活用し、開発中の予報モデルのリアルタイムシミュレーション実験を実施



今後、引き続き技術開発等を進め、更なる予測精度向上を図っていく

「災害時における避難所等で使用する製品の供給に関する協定」を締結しました

6月28日、株式会社アキレスと「災害時における避難所等で使用する製品の供給に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時等において主に避難時や避難場所等で使用する資機材等を迅速かつ円滑に供給することを目的に締結されたものです。

町ではこれらの協定を通じ、更なるまちの安全・安心を目指します。

問合せ 総務課情報グループ ☎ 2511